

日野 振興センターだより

No. 6

平成 26 年 9 月

鳥取県



写真：奥大山ブルーベリーファーム(江府町笠良原)

M E N U

～里山 SIZEN 主義～ たたらの里を学ぼう！	P2
新しいひの発見	P3
日野高校生！オオサンショウウオ生態調査に大活躍	P4
日野郡で農福連携事業がスタート！／米子の農村青年と交流	P5
森林作業道は“水の動き”に要注意！	P6
道路の維持管理／手話講座（基本あいさつ）	P7
お知らせ Information	P8

～里山 SIZEN 主義～ たたら^らの里を学ぼう！

日野郡広域交流促進協議会では、日野郡の自然や歴史・文化など地域資源を活かした観光商品の磨き上げを行うため、今年度は県外の旅行会社とタイアップしたモニターツアーを2回実施します。

第1回目として8月30日(土)、31日(日)の両日には、香川県から日野町と江府町を体験する日帰りツアーに計45名の方が参加されました。

このツアーでは、県外の観光客の皆さんの楽しみみである、地元の人とのふれあいや、お土産の購入ができるよう、日野郡産品を販売する企業・団体による応援企画『みちくさ祭り』を同時開催し、ツアー参加者の皆さんをおもてな・し・しました。

さらに秋冬には、日南町と日野町をメインとした1泊2日のモニターツアーも予定しており、ツアー参加者にご協力いただいたアンケート結果等を分析して、より魅力ある観光商品の造成と商品化を目指します。



昼食



休暇村奥大山で白いかメインの豪華昼食に舌鼓

サントリー工場見学



フナの森工場の雪室見学でひんやり！

金持神社参拝



金持神社でのお祓い



DATE 26 8 30,31

～参加者のコメント～

- ・昼食の白いかと金持神社の参拝が楽しみでした。
- ・たたら^らの里へ行ってみたいと参加しました。
- ・ガイドと一緒に歩いたなうスラは、説明が分かりやすくてとても良かった！
- ・みちくさの人々の温かさに感動しました！



大近藤家特別公開



みちくさ祭り

みちくさ祭りで買物を満喫

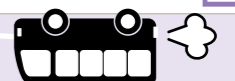


ガイドと一緒に根雨のまち歩き



なうスラ

たたら^らの楽校で熱心に見学



新しい見 新ひの発

7月23日(水)に日南町で、東川隆太郎氏(NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事)を講師にお招きして、現地研修会を開催しました。

東川氏には、5月27日(火)に「世間遺産とまち歩きくみんなで見つけよう地域の宝」と題した講演をしていただいております。今回はその実践編ともいべき研修会です。

当日は、日南小学校の児童や地元の方の他、町外からも参加していただき、日南町多里地区の宝さがしを行いました。

「ひの物語」発見事業現地研修会を開催

参加者は2つのグループに分かれ、多里地区の北側と南側を2時間程度かけて写真撮影と記録を行いました。



午後からは撮影した写真を地図へ貼り付け、参加者オリジナルの宝の地図が完成しました。



「うちの地区には何も無い」と思いこんでおられる方が多いと思いますが、改めて地域を見直してみてください。きっと新しい発見があるはずですよ。



日野郡で 農福連携事業が スタート!



収穫したブルーベリーに小枝など混じっていないか確認



収穫作業の様子

鳥取県では、平成22年から農福連携(農業と福祉施設の連携)に取り組んでおり、今年度からは各福祉保健局に農福連携推進コーディネーターを配置し、体制を強化しています。

こうした取組の中から、この度、日野郡で初のマッチング事例が生まれました。

江府町笠原でブルーベリーを栽培している株式会社かわばた(代表取締役 川端雄勇氏)と南部町で障がい者就労支援施設を経営する特定非営利活動法人ノーム(理事長 吉田尚代氏)が連携して、8月5日(火)からブルーベリーの収穫作業を開始しました。

初日は、施設通所者4名が約2時間収穫作業を行い、今後も定期的にブルーベリー園に通いながら収穫作業を行っていく予定です。

日野振興センターとしても日野郡内で障がい者施設の農業分野での就労をより一層促進していきたいと思えます。

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2025 FAX:0859-72-2090

米子の農村青年 と交流

6月27日(金)に日南町にて、日野地区農村青年と米子地区農村青年会議との交流会が開催され、25名の農村青年と日野地区指導農業士や関係機関(JA・各町など)が参加しました。

午前中は、日南町の新規就農者(1ターンの)のトマトハウス栽培や白ネギの視察を行い、午後は日野、米子それぞれの青年の意見発表(就農のきっかけ、現在の経営内容、研修生に応募したきっかけ等)や意見交換が行われました。

農地確保の際には地域の信頼を得ることや栽培作物に適した農地を確保することの重要性などが話し合われました。また、指導農業士から「農地の確保も必要であるが、住居をセットで探し確保することも重要」、「農



業は自分が社長であり、自由な発想で仕事ができる。サラリーマンではなしえないことができる。」などの助言があり、参加者は見聞を広めることができました。

今後も他地域の農業青年と交流する機会を設けていきたいと思えます。

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090

日野高校生! オオサンショウ ウオ生態調査に 大活躍

日野川流域は特別天然記念物オオサンショウウオの生息地であることが知られていますが、これまで十分な生態調査が行われておらず、保護対策や種の保存に向けて取組が急がれているところです。

日野川の源流と流域を守る会では、次世代に日野川の重要性を認識してもらい、野生生物保護や河



岡田研究員と生徒達

川環境保全の意識向上を図ることを目的として、鳥取県日野地区連携・共同協議会と協力して、7月16日(水)に、地元の日野高校アグリライフコース1年生4名によるオオサンショウウオ生態調査を実施しました。

調査は、オオサンショウウオを長年研究されている鳥取大学工学研究科 岡田純研究員を講師に招き、日野町上菅から黒坂にかけての日野川本流と支流を対象に行いました。

オオサンショウウオは夜行性のため、調査を行った日中に見つけるのは困難とされていますが、



熱心に探す生徒達

高校生の根気強い捜索により何とか体長約27cmの若い個体を発見することができました。発見したオオサンショウウオは、体長や体重を計測した後、元の場所へ放流しましたが、今後の生態解明に向けて貴重なデータとなります。

今回の調査が、オオサンショウウオの生態解明と美しく豊かな日野川の自然環境の継承に貢献することを期待しています。

※なお、今回の調査は許可を得て行っています。



発見されたオオサンショウウオ

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2080 FAX:0859-72-2072





除雪トラックによる除雪

路面清掃車による路面清掃

支障となる枝の伐採

除草作業

道路の維持管理

問

日野県土整備局では、県が管理する国道、県道総計284 kmの道路を管理しており、良好な状態に保つため除草、舗装等の維持修繕工事を実施するとともに、冬季には除雪作業等の積雪対策を行っています。

鳥取県・日南町・日野町・江府町・工事施工業者・除雪等受託業者が連携して利用される皆さんが快適に通行できるように努めています。

さらに、除草作業等には地域住民の皆さんにもボランティアとして参加いただいています。

道路の維持作業中は、片側通行規制などご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

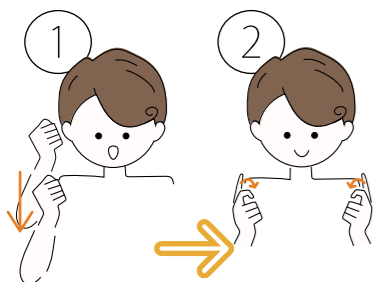
また、皆さんからの情報を活用して管理に努めていますので、異常等を見られた場合は、日野県土整備局維持管理課までご連絡をお願いします。

日野県土整備局維持管理課
電話：0859(72)2049
FAX：0859(72)2092

鳥取県日野地区連携・共同協議会

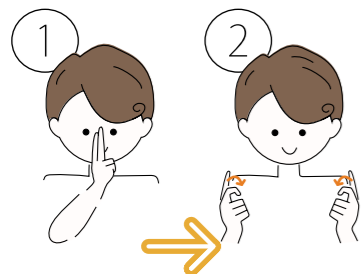
この記事は日南町、日野町、江府町、日野振興センターが連携、共同して鳥取県日野地区連携・共同協議会の取り組みを情報発信しています。今回は障がい者行政に関する取り組みの紹介です。

おはようございます



- ① 朝という手話 (朝を時計に見立てて12時を表現) 手をグーにしてこめかみから下げる
- ② あいさつという手話 (人と人がおじきをする動作) 両手の人差し指だけを立てて向かい合わせて、曲げる

こんにちは



- ① 風という手話 (顔を時計に見立てて12時を表現) 人差し指と中指を立てて額に付ける
- ② あいさつという手話 (人と人がおじきをする動作) 両手の人差し指だけを立てて向かい合わせて、曲げる

ありがとうございます



(お相撲さんが懸賞金を受け取る動作という説がある)
左手の甲を上にして、右手で左手の甲を軽く叩いて引き上げる

POINT

手話は表情も大切!
手と一緒に口も動かそう!

障がいを知り、共に生きる

手話講座

(基本あいさつ)

日野郡3町と県が連携・共同して、様々なことに取り組むために設置している『鳥取県日野地区連携・共同協議会』では、“障がいを知り、共に生きる地域づくり”の推進に取り組んでいます。

今回は、耳の聞こえない人達にとっての言語である手話の基本的なあいさつを紹介します。とっても簡単ですので覚えてみてください。

問

日野振興局 地域振興課
電話：0859-72-2086
FAX:0859-72-2072

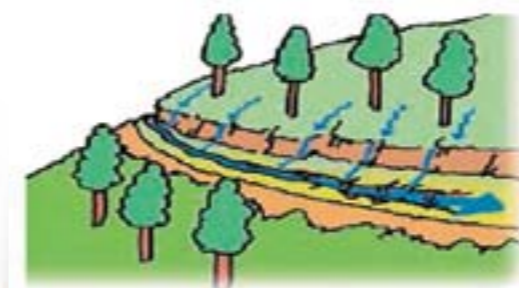
日野振興局では、「崩れない作業道づくり」を推進しています。丈夫な作業道を作るためには、山の削り方、土の盛り方など、さまざまな工夫や対策が必要です。

作業道の最大敵はなんと言っても「水」です。水の処理をしっかりと行わないと、轍が掘れて路面が荒れたり、水が染み込んで土が柔らかくなり路体が崩壊したりします。

崩壊場所が悪ければ、河川に土砂が入り込んだり、一般の道路に流れ出て通行止めを引き起こしたりする可能性もあります。

また、一度崩壊すると、復旧するために余計な時間や経費、手間がかかることになり、とても効率が悪いものになってしまいます。

そこで、雨水などの表面水が路面を延々と流れることが無いように、路面を波形にして、短い区間で道の外側の崩壊しない場所に排水するようにします。



勾配が急で、波形にできない場所では、おおよそ20m間隔で横断排水を行い、路面水を道の外に逃がします。

作業道に悪影響を及ぼす水は表面水ではありません。山の中には地表に現れない水の流れがあり、道を作るために山を削って初めて地表に出てくる湧水があります。

湧水は天気の良いときは見つけにくく、見落としてしまうと、雨が降った後や雪解けの季節などに水が湧き出て、路面が削られたり、崩壊を引き起こしたりします。

湧水は、木の枝や丸太を埋めて、表面水と同じように作業道の外に排水します。

作業道の利用中も、水の状況に気を配って、危険な箇所があればすぐに補修することが大切です。



切取り面から出る湧水

森林作業道は“水の動き”に要注意!

問 | 日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2018 FAX:0859-72-2125

美しい日野川を守っていくためには、日野川の魅力の再発見が必要です。

日野川の源流と流域を守る会では、日野川流域憲章を記念して講演会を開催します。

三重県鳥羽市海島遊民くらぶ
江崎貴久さんが日野川の魅力の再発見について熱く語ります。



日野川流域憲章記念講演

日 時 平成26年11月16日(日)午後2時~午後4時
会 場 伯耆町農村改善センター2階ホール ※事前申込み必要
講 師 江崎 貴久氏(三重県鳥羽市海島遊民くらぶ代表)
問合せ先 日野川の源流と流域を守る会(電話 0859-72-2080 FAX0859-72-2072)

日野川をめぐる地域の魅力発見 1

2



農と食のフェスタ in せいぶ

これまで毎年秋に、鳥取市の布勢運動公園で開催されてきた「食のみやこ鳥取県フェスタ」は、今年度から東部・中部・西部の3地区で、それぞれの地域の特色を生かしたイベントとして開催されることになりました。

西部地区では、食を通じた西部地区の魅力を広く発信するため、「米フェスタ」、「JAふれあいまつり」、「ネギ来まつり&米子駅まつり」、「せいぶの農と食まつり」が大集合して開催されます。

日 時 平成26年10月25日(土)午前10時~午後4時(米フェスタは午前11時~)
26日(日)午前10時~午後3時
会 場 米子コンベンションセンター、米子駅前だんだん広場、JR米子駅前、米子市文化ホール多目的広場
主 催 食のみやこ鳥取県西部フェスタ連絡協議会
問合せ先 日野振興局 農林業振興課(電話 0859-72-2003 FAX0859-72-2011)

日野振興センター

4

facebook 始めました

日野郡の旬な話題を提供中です。
みなさんの“いいね!”お待ちしております。

日野振興センター Facebook

検索

日野郡内のイベントや旬な情報、職員が実際体験したことなどをお届けするブログ「日野ごよみ」の総アクセス数が100万を突破しました。
今後も、日野郡をPRする様々な情報を発信していきますので、引き続きご愛読の程よろしくお願いたします。

日野ごよみ 祝!!
1,000,000
アクセス達成



日野ごよみキャラクター “おひのちゃん”

日野ごよみ

検索